



ASA 5505 の取り付け

この章では、ASA 5505 適応型セキュリティ アプライアンスの取り付け方法について説明します。この章には、次の項があります。

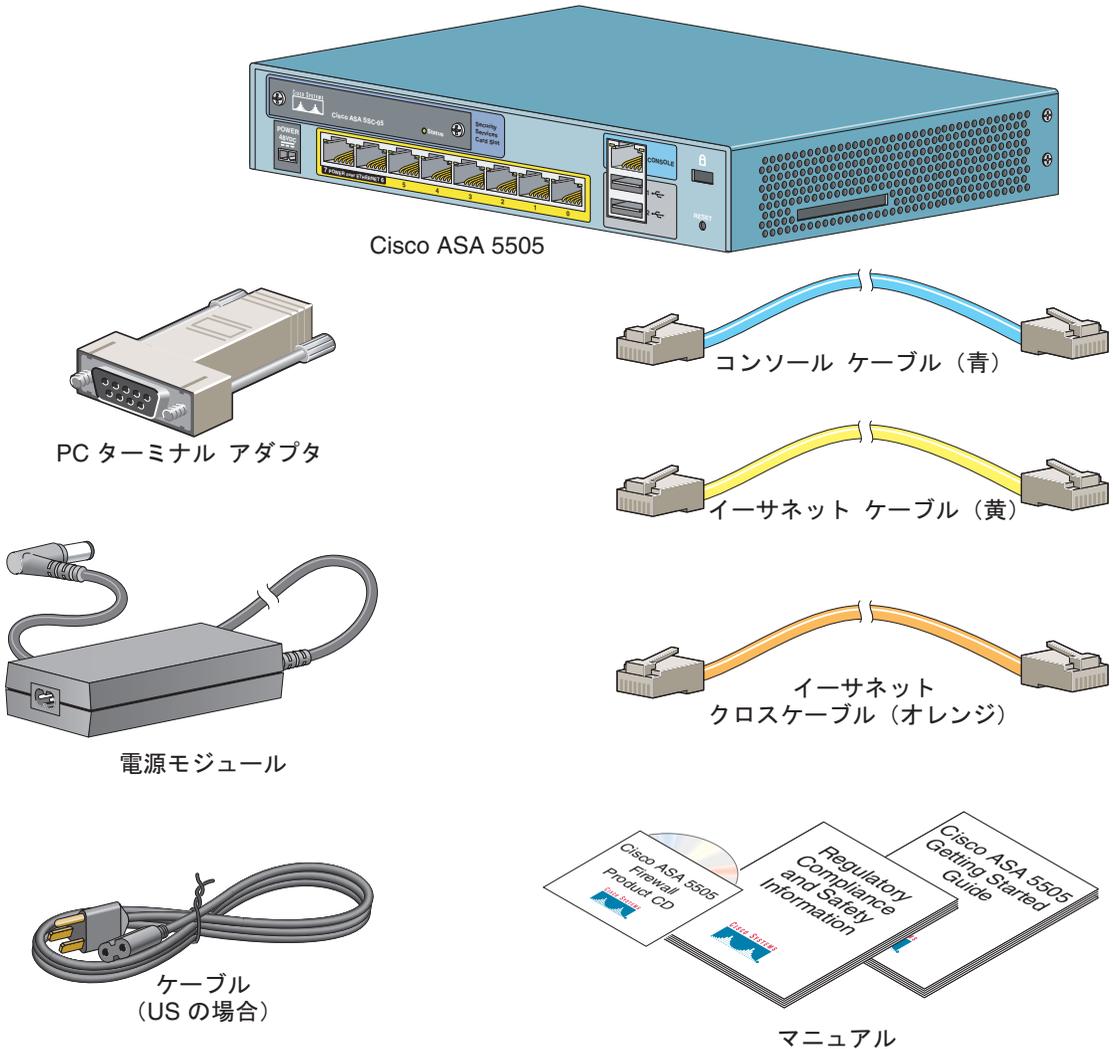
- パッケージ内容の確認 (P.4-1)
- PoE ポートおよびデバイス (P.4-3)
- シャーシの取り付け (P.4-4)
- ネットワーク インターフェイスへの接続 (P.4-5)
- ASA 5505 の電源投入 (P.4-6)
- システム管理用の PC のセットアップ (P.4-7)
- オプションの手順 (P.4-9)
- ポートおよび LED (P.4-11)
- 次の作業 (P.4-14)

パッケージ内容の確認

パッケージの箱の内容をチェックし、[図 4-1](#) に表示されているように、Cisco ASA 5505 適応型セキュリティ アプライアンスを取り付けるために必要な品目がすべてそろっていることを確認します。

■ パッケージ内容の確認

図 4-1 ASA 5505 パッケージの内容



PoE ポートおよびデバイス

ASA 5505 では、スイッチ ポート Ethernet 0/6 および Ethernet 0/7 は、IP 電話およびワイヤレス アクセス ポイントなどの IEEE 802.3af 標準に準拠した PoE デバイスをサポートしています。非 PoE デバイスを取り付ける場合、またはこれらのスイッチ ポートに接続しない場合、適応型セキュリティ アプライアンスはポートに電力を供給しないため、デバイス独自の電源が必要になります。

これらのポートは、IP 電話または他の PoE デバイスに電力を供給できる唯一のポートです。ただし、これらのポートはそれ以外の用途にも使用されます。イーサネット スイッチ ポートとして使用することもできます（イーサネット スイッチ ポートには 0～5 の番号が割り当てられています）。PoE デバイスが接続されていない場合は、そのポートに電力が供給されません。

PoE デバイスを接続する場合は、次のガイドラインを使用します。

- ストレート ケーブルだけを使用してください。クロスケーブルを使用した場合、ASA 5505 は電力を PoE ポートに供給しません。
- E0/6 および E0/7 を使用して PoE デバイスに接続する場合、E0/6 および E0/7 のオートネゴシエーション（速度とデュプレックスの強制）をディセーブルにしないでください。オートネゴシエーションがディセーブルの場合、ASA 5505 は PoE デバイスが接続されていることを認識しません。この場合、ポートに電力は供給されません。



(注) Cisco PoE デバイスを非 PoE スイッチ ポート（E0/0～E0/5）に接続するときは注意してください。そのスイッチ ポートでオートネゴシエーションがディセーブルの場合、一部の Cisco Powered Device (PD; 受電装置) モデルでネットワークのループバックが発生する可能性があります。

- Cisco IP Phone 7970 は、ASA 5505 から電力が供給される場合は、常に低電力モードになります。

シャーシの取り付け

ASA 5505 を取り付けするには、次の手順に従います。

ステップ 1 シャーシを安定した平らな面に置きます。このシャーシはラック マウントできません。

ステップ 2 ポート 0 をパブリック ネットワーク（インターネット）に接続します。

- a. 黄色のイーサネット ケーブルを使用して、デバイスをスイッチまたはハブに接続します。
- b. 黄色のイーサネット ケーブルのうち 1 本を使用して、デバイスをケーブル、DSL、または ISDN モデムに接続します。



(注) デフォルトでは、スイッチ ポート 0 は外部ポートです。

ステップ 3 イーサネット ケーブルを使用して、ネットワーク デバイスを残りの 7 つのスイッチドポート（1～7 番）の 1 つに接続します。

Power over Ethernet (PoE) デバイスを接続する場合は、PoE をサポートしているスイッチポートの 1 つ（6 番と 7 番のポート）に接続します。

ネットワーク インターフェイスへの接続

ネットワーク インターフェイスに接続するには、次の手順に従います。

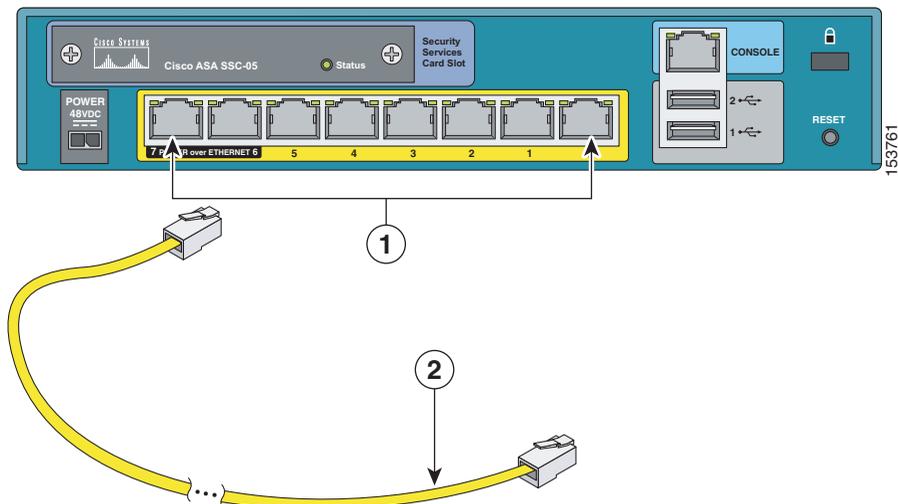
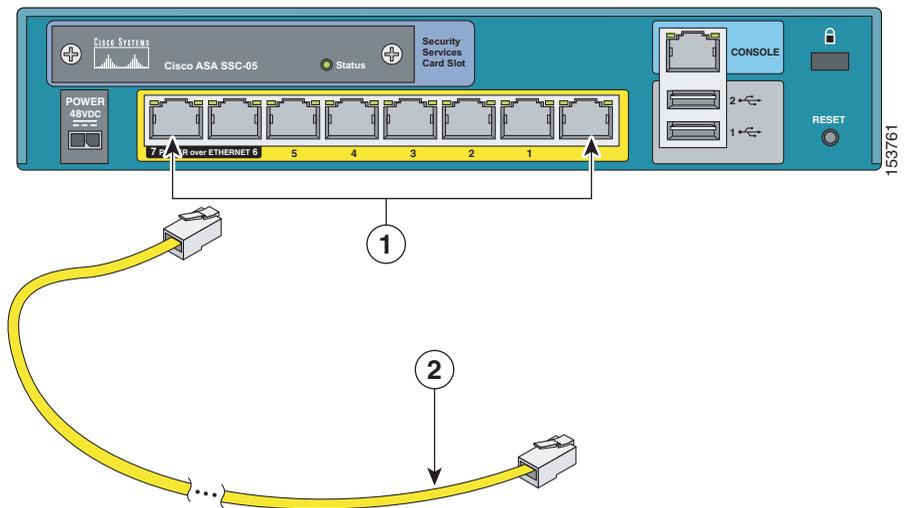
- ステップ 1** RJ-45 to RJ-45 イーサネット ケーブルを用意します。
- ステップ 2**  4-2 に表示されているように、イーサネット ケーブルの片方の端子をイーサネット ポート（ポート 0～7）に接続します（通常、イーサネット ポート 0 を使用して、インターネット ルータに接続します）。

図 4-2 イーサネット インターフェイスへの接続



1	イーサネット スイッチ ポート	2	イーサネット ケーブル
---	-----------------	---	-------------

- ステップ 3** イーサネット ケーブルのもう一方の端子をルータ、デスクトップ コンピュータ、またはプリンタなどのデバイスに接続します。

ASA 5505 の電源投入

ASA 5505 の電源を入れるには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** 電源コードを電源に接続します。
 - ステップ 2** 電源コードの小さな四角いコネクタを背面パネルの電源コネクタに接続します。
 - ステップ 3** 電源入力ケーブルの AC 電源コネクタをコンセントに接続します。



(注) ASA 5505 には、電源スイッチがありません。ステップ 3 を完了すると、デバイスの電源が入ります。

- ステップ 4** 電源 LED を確認します。緑色に点灯する場合は、デバイスの電源が入っています。

詳細については、P.4-11 の「前面パネルのコンポーネント」を参照してください。

システム管理用の PC のセットアップ

コマンドライン インターフェイス、またはわかりやすいグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) を提供する Adaptive Security Device Manager (ASDM) アプリケーションを使用して、PC からセットアップ、設定、および管理のタスクを実行できます。

設定と管理機能だけでなく、ASDM は、初期設定、VPN 設定、およびハイ アベイラビリティ設定の設定ウィザードも提供します。

ASDM を使用したセットアップおよび設定の詳細については、[第 5 章「適応型セキュリティアプライアンスの設定」](#)を参照してください。

ASA 5505 を設定および管理できる PC をセットアップするには、次の手順に従います。

ステップ 1 ASA 5505 内部ポートの 1 つに接続する PC インターフェイスの速度がオートネゴシエーションに設定されていることを確認します。この設定は、優れた性能を提供します。

デフォルトでは、ASA 5505 が自動的に内部インターフェイスの速度をネゴシエーションします。オートネゴシエーションを PC インターフェイスのオプションにしない場合は、速度を 10 または 100 Mbps の半二重に設定します。インターフェイスを全二重に設定しないでください。これは、インターフェイスの全体的なスループット機能に大きな影響を与えるデュプレックスの不一致を引き起こす原因となります。

ステップ 2 DHCP を使用するように PC を設定します (ASA 5505 から自動的に IP アドレスを受信するため)。この設定により、PC が ASA 5505 およびインターネットと通信できるようになるだけでなく、ASDM を実行して設定および管理のタスクを行えます。

または、192.168.1.0 サブネットの中からアドレスを選択して、スタティック IP アドレスを使用中の PC に割り当てることもできます (有効なアドレスは 192.168.1.2 ~ 192.168.1.254、マスクは 255.255.255.0、デフォルトのルートは 192.168.1.1 です)。

■ システム管理用の PC のセットアップ

他のデバイスを任意の内部ポートに接続する場合は、同じ IP アドレスが使用されていないことを確認します。



(注) デフォルトでは、適応型セキュリティ アプライアンスの MGMT インターフェイスが 192.168.1.1 に割り当てられているため、このアドレスは使用できません。

ステップ 3 イーサネット ケーブルを使用して、PC を ASA 5505 の背面パネルにあるスイッチド内部ポート（1～7 番のポートの 1 つ）に接続します。

ステップ 4 LINK LED を確認し、ASA 5505 との基本的な接続が確立されていることを確認します。

接続が確立されると、ASA 5505 の前面パネルにある LINK LED が緑色に点灯します。

ここまでの作業で、ASDM と ASDM Startup Wizard にアクセスできるようになりました。ASA 5505 の初期セットアップと設定の実行方法の詳細については、[第 5 章「適応型セキュリティ アプライアンスの設定」](#)を参照してください。

オプションの手順

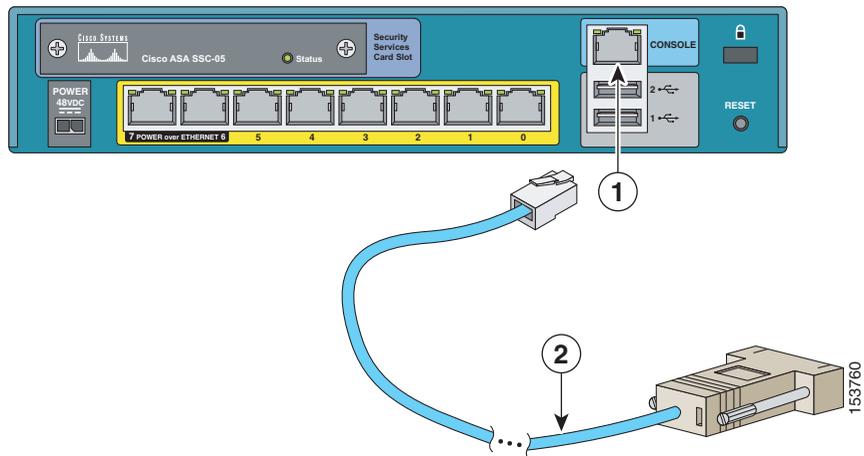
ここでは、ASA 5505 の初期セットアップでは必須ではないタスクを実行する方法について説明します。この項は、次の内容で構成されています。

- [コンソールへの接続 \(P.4-9\)](#)
- [ケーブルロックの取り付け \(P.4-10\)](#)

コンソールへの接続

ASA 5505 のコンソールポートを使用して、管理用のコマンドラインにアクセスできます。これには、[図 4-3](#) に表示されているように、PC またはワークステーションのシリアルターミナルエミュレータを実行する必要があります。

図 4-3 コンソールへの接続



1	コンソールポート	2	コンソールケーブル
---	----------	---	-----------

ローカルのコマンドライン管理アクセス用のコンソールを接続するには、次の手順に従います。

■ オプションの手順

-
- ステップ 1** PC ターミナルアダプタの片方の端子を PC の標準 9 ピン PC シリアルポートに差し込みます。
- ステップ 2** 青色のコンソールケーブルの片方の端子を PC ターミナルアダプタに差し込みます。
- ステップ 3** 青色のコンソールケーブルのもう一方の端子をコンソールポートに差し込みます。
- ステップ 4** PC ターミナルエミュレーションソフトウェアまたはターミナルに 9600 ボー、8 データビット、パリティなし、および 1 ストップビットを設定します。
-

ケーブルロックの取り付け

ASA 5505 には、ラップトップコンピュータなどの小型のポータブル機器に対して、物理的なセキュリティを提供する標準デスクトップケーブルロックを取り付けるスロットがあります。ケーブルロックは同梱されていません。

ケーブルロックを取り付けるには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** メーカーの指示に従って、ケーブルのもう一方の端子を取り付け、適応型セキュリティアプライアンスの安全を確保します。
- ステップ 2** ASA 5505 の背面パネルにあるロックスロットにケーブルロックを接続します。
-

ポートおよび LED

ここでは、ASA 5505 の前面パネルと背面パネルについて説明します。この項は、次の内容で構成されています。

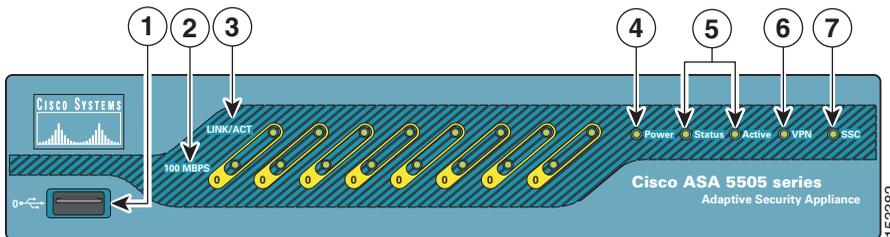
- 前面パネルのコンポーネント (P.4-11)
- 背面パネルのコンポーネント (P.4-13)

前面パネルのコンポーネント

ASA 5505 の前面パネルにある **LINK/ACT** インジケータは、リンクが確立されたときは通常の緑色の点灯で、ネットワーク アクティビティが発生しているときは緑色の点滅です。各イーサネット インターフェイス (0 ~ 7 番) には、動作速度と物理リンクの確立状況を示す 2 つの LED があります。

図 4-4 に、ASA 5505 の前面パネルを示します。

図 4-4 ASA 5505 前面パネル



ポート / LED	色	状態	説明
1	—	—	今後のリリース用に確保されています。
2	消灯	—	ネットワーク トラフィックが 10 Mbps で流れています。
	緑	点灯	ネットワーク トラフィックが 100 Mbps で流れています。

■ ポートおよび LED

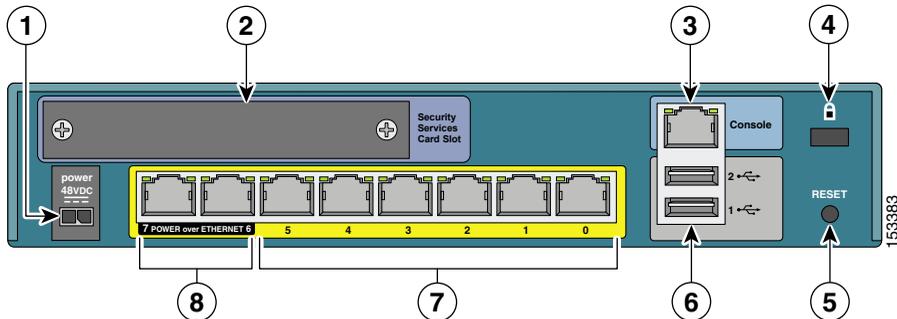
	ポート / LED	色	状態	説明
3	リンク アクティビティ インジケータ	緑	点灯	物理リンクが確立されています。*
		緑	点滅	ネットワーク アクティビティが発生しています。
4	電源	緑	点灯	デバイスの電源が入っています。
		オフ	—	デバイスの電源が入っていません。
5	ステータス	緑	点滅	電源投入診断を実行中か、システムがブート中です。
			点灯	システムが動作可能な状態です。
		オレンジ	点灯	システムで問題が発生しています。
6	アクティブ	緑	点灯	システムがトラフィックを転送しています。 システムがハイ アベイラビリティ セットアップを行っている場合は、緑色の点灯によって、リンクがトラフィックを転送していることが示されます。
		オレンジ	点灯	システムがスタンバイの状態です。 システムがハイ アベイラビリティ セットアップを行っている場合は、オレンジ色の点灯によって、スタンバイユニットであることが示されます。
7	VPN	緑	点灯	VPN トンネルが確立されています。
			点滅	システムが VPN トンネルを開始しています。
		オレンジ	点灯	トンネルの開始が失敗しました。
8	SSC	—	—	SSC スロットに SSC カードが装着されています。

* LINK/ACT LED が点灯しない場合は、デュプレックスの不一致が発生している場合に限り、リンクがダウンしている可能性があります。ASA 5505 側または反対側で設定を変更し、問題を修正できます。オートネゴシエーションがディセーブル（デフォルトでは、イネーブル）の場合は、誤ったタイプのケーブルを使用している可能性があります。黄色（ストレート）イーサネット ケーブルをオレンジ色（クロス）イーサネット ケーブルに交換してみてください。

背面パネルのコンポーネント

図 4-5 に、ASA 5505 の背面パネルを示します。

図 4-5 ASA 5505 背面パネル



ポートまたは LED	目的
1 電源コネクタ	電源コードの接続
2 セキュリティ サービス カード スロット	今後のリリース用に確保されています。
3 シリアル コンソール ポート	コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用したデバイスの管理
4 ロック デバイス	今後のリリース用に確保されています。
5 RESET ボタン	今後のリリース用に確保されています。
6 2 つの USB v2.0 ポート	今後のリリース用に確保されています。
7 イーサネット スイッチ ポート 0 ~ 7	柔軟性のある VLAN 設定を提供するレイヤ 2 スイッチ ポート。
	<p> (注) イーサネット スイッチ ポート 6 および 7 は、PoE デバイスもサポートしています。PoE デバイスが接続されていない場合は、そのポートに電力は供給されないため、デバイス独自の電源が必要になります。</p>

■ 次の作業

	ポートまたは LED	目的
8	PoE スイッチ ポート 6 ~ 7	<p>PoE デバイス (IP Phone などのネットワーク インターフェイスで電源投入できるデバイス) に使用できます。</p> <p>これらのポートは、IP Phone または他の PoE デバイスに使用できる唯一のポートです。ただし、これらのポートはそれ以外の用途にも使用されます。イーサネット スイッチ ポートとして使用することもできます (イーサネット スイッチ ポートには 0 ~ 5 の番号が割り当てられています)。PoE デバイスが接続されていない場合は、そのポートに電力は供給されないため、デバイス独自の電源が必要になります。</p>

次の作業

第 5 章「[適応型セキュリティ アプライアンスの設定](#)」に進みます。